

## JNSA 会員企業の製品・サービス・イベント情報です。

## ■製品情報■

## ○RADIUS サーバソフトウェア『fullflex EG』

企業・団体内でのユーザ認証に適した、多用途のRADIUSサーバソフトウェアが誕生しました。操作ガイドつきのわかりやすいウェブGUIで、専門知識不足でも管理可能。IEEE802.1Xに対応し、ダイヤルアップの他、無線LANや認証VLAN等でもユーザ認証を行います。外部DBやワンタイムパスワードシステムとの連携も実現。価格：25万円(50ユーザ)～150万円(3,000ユーザ×2)  
<http://accense.com/products/eg/>

## ◆お問い合わせ先◆

株式会社アクセンス・テクノロジー  
 E-MAIL : sales@accense.com  
 TEL : 03-5206-7740

## ○「DataClasys」(データクレシス)

「DataClasys」(データクレシス)は極秘や社外秘などで管理をしている紙媒体の文書管理をデジタルファイル・データでも実現します。ISMSやBS7799などの情報セキュリティ認証基準にも対応できます。機密性の高いデジタルファイル・データを機密情報管理ポリシー策定、システム設定、監査までを一貫してサポートする初めてのデジタル文書管理・暗号システムです。

<http://www.ahkun.jp/dataclasys/index.html>

## ◆お問い合わせ先◆

株式会社アークン プロダクト事業本部営業部  
 E-MAIL : info@ahkun.jp  
 TEL : 03-5294-6065

## ○秘密分散法応用の新製品

T A S (Threshold Authentication Scheme)

東京大学との共同研究による認証スキームT A Sを12月より販売開始しました。

暗号鍵など秘匿情報をリスク分散して送付するシステム、従来難しかった再配布や追跡性の機能を持った電子チケットシステムの構築などに応用出来ます。情報家電や携帯電話などの各種ユビキタス環境で広くお使い頂くことが可能です。

<http://c4t.jp>

## ◆お問い合わせ先◆

株式会社シーフォーテクノロジー

## ○McAfee IntruShield

高精度IDS/IPS製品「McAfee IntruShield」は、ネットワークへの侵入をリアルタイムに検知、防御するアプライアンス製品。不正侵入やDDoSを検知するだけでなく「防御」も可能。

シグネチャ分析とアノマリ分析を組み合わせた高精度検知ロジックや2ギガbpsの大量高速処理(最高機種の場合)、高い検知率などを誇り、数々の賞を受賞。価格は132万円から。  
<http://www.nai.com/Japan/products//intrushield.asp>

## ◆お問い合わせ先◆

日本ネットワークアソシエイツ株式会社  
 TEL : 03-5428-1104

## ○Web認証ソフト WisePoint

日本語パスワードや乱数表を用いて本人認証を行う事でWebシステムの認証強化を実現。その他ポータル、アクセス制御、SSO機能も1パッケージで提供。既存のWebシステムを殆ど変更せず、低コスト・短期間で導入でき、企業合併や自治体統合時に既存リソースを用いて迅速に事業開始が可能。本年9月、TMTマシナリー様にて事業統合時におけるIP-VPN網のセキュリティ確保に採用。

<http://wisepoint.jp/>

## ◆お問い合わせ先◆

ファルコンシステムコンサルティング株式会社 マーケティング本部  
 E-MAIL : sales@falconsco.com  
 TEL : 03-5452-0712

## ○HP Compartment Guard for Linux

Linux用に国産初の商用セキュアOSを提供しています。価格は1CPUにつき一律10万円です。機能の詳細は、下記Webをご覧ください。無償評価版もWebからダウンロードできます。  
<http://www.hp.com/jp/hpcg/>

## ◆お問い合わせ先◆

日本ヒューレット・パカード株式会社  
 E-MAIL : CGLX-INFO@security.jpn.hp.com

## ■サービス情報■

○御社のデスクトップセキュリティを診断！  
『Windows Security Check Service』を開始

本サービスは御社のシステムにひそむ脆弱性や社員によるセキュリティ違反を洗い出し、どのような対策を取ればよいかを考慮するための指針となる情報を提供いたします。

●診断はマイクロソフトが提唱するセキュリティチェックリストに準拠

●調査時のシステム担当者への負荷や御社システムへのインパクトもほとんどなし

●そのまま経営者様や株主様に渡しても結果が理解できる、分かりやすい報告書をご提供

『Windows Security Check Service』の詳細はこちら  
<http://www.amiya.co.jp/service/wsc01.html>

◆お問い合わせ先◆

株式会社網屋  
 お問い合わせフォーム：  
<http://www.amiya.co.jp/contact/inq01.html>  
 E-MAIL：bv-info@amiya.co.jp  
 TEL：03-5643-1331（担当：宮地）

○『不正PC検出サービス』

企業内ネットワークに接続されるクライアントPCを24時間365日体制でネットマークスの運用・監視センターから監視、無断でネットワークに接続される不正なクライアントPCを検出し、システム管理者に通知するアウトソーシングサービスです。これらのクライアントPC情報は資産管理データベースとして活用できるため、システム管理者が従業員に対して行なう調査や集計など、管理作業を軽減します。

[http://www.netmarks.co.jp/prdct\\_srvc/prdct\\_info/service/index.html](http://www.netmarks.co.jp/prdct_srvc/prdct_info/service/index.html)

◆お問い合わせ先◆

株式会社ネットマークス マネージメントサービス事業部  
 E-MAIL：info@netmarks.co.jp  
 TEL：03-3423-5941

○ソフトウェア開発のセキュリティなら「TRUSNET」

主なサービスとして、下記がございます。

- (1)カスタムソフトウェアセキュリティ支援
  - ・WEBアプリケーションの脆弱性を発見するスキャンング診断
  - ・より根本的な脆弱性を発見するソースコード診断
  - ・脆弱性を未然に防止する設計・開発コンサルテーション
- (2)セキュアプログラミング セミナー  
<http://www.trusnet.com/>

◆お問い合わせ先◆

セントラル・コンピュータ・サービス株式会社  
 セキュリティソリューション部  
 TEL：03-5626-7738  
 FAX：03-5626-7763

○『Ultimate Hacking：ハッキング実践と対策スクール』

伊藤忠テクノサイエンス(株)は、アイ・ディフェンス・ジャパン社との協業により、過去3回開催し、大好評をいただいております。「Ultimate Hacking：ハッキング実践と対策スクール」の第4回目開催日程を2004年2月3日～6日に決定いたしました。

米国FoundStone社により世界各地で開催されている本コースでは、様々なハッキングや攻撃手法について、講義のみならず

実習を通じて、実践的な防衛テクニックを学んで頂けます。

<http://www.idefense.co.jp/service/ultimate/index.html>

◆お問い合わせ先◆

伊藤忠テクノサイエンス株式会社  
 ネットワーク&セキュリティ営業推進部 吉武(よしたけ)  
 E-MAIL：ctc-ns@ctc-g.co.jp  
 TEL：03-5226-2652

○SEA/J情報セキュリティ技術認定コース  
 &情報セキュリティ対策支援トレーニングのご案内

SEA/J情報セキュリティ技術認定コース

『基礎コース(2日間)』 1月28日～29日、3月3日～4日

【概要】セキュリティのスキルマップ項目に対応した基礎知識を習得

情報セキュリティ対策支援トレーニング

『ネットワークセキュリティ総合コース(6日間)』

3月17日～19日、24日～26日

【概要】システム管理者に必要な専門的なセキュリティ知識を習得

[http://www.hucom.co.jp/service/education.html#training\\_hl](http://www.hucom.co.jp/service/education.html#training_hl)

◆お問い合わせ先◆

株式会社ヒューコム SMS事業本部  
 E-MAIL：sea-j@hucom.co.jp  
 TEL：03-5306-7339

■イベント紹介■

『HPオラクル セキュリティ・センター』を、日本オラクル、日本ネットグリティ、ネット・タイム、日本HPの4社で開設しました。ここではオラクルソフトウェア環境上でのセキュリティの検証や他のセキュリティ環境との相互運用や接続を検証します。このたび開設記念として、ICカード、アクセス制御、ディレクトリ、SSO、データベースまでの統合的なアイデンティティ・マネジメントのデモとセミナーを1月16日に開催します。

<http://www.hp.com/jp/security>

◆お問い合わせ先◆

日本ビューレット・パカード株式会社  
 E-MAIL：info@security.jpn.hp.com